

高校野球が学校生活や私生活、また人格形成や心身の成長に及ぼす影響についての研究

吉村 大輔 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 金森 雅夫

キーワード：高校野球，教育，人格形成

1. 緒言

現在日本において、高校野球は老若男女を問わず大きな人気を誇り、注目されるものとなっている。全国の高校野球を管理、司る日本高等学校野球連盟は、日本学生憲章において高校野球の基本原則として「学生野球は、教育の一環であり、平和で民主的な人類社会の形成者として必要な資質を備えた人間の育成を目的とする」と述べている。つまり、学生野球は単なる勝敗を決めるスポーツではなく、教育の一環として捉えられているのである。本論文は、そうした高校野球の持つ教育的効果について着目し、研究を行い、高校野球によって学生たちの学校生活、私生活、並びに人格形成や、心身の成長に及ぼされている影響について考察することを目的とする。

2. 研究方法

文献研究および、アンケート調査を行った。調査対象は私の母校である奈良県立登美ヶ丘高等学校野球部員の1年生、2年生11名、3年生17名、計48名にアンケート用紙を手渡し、匿名で回答させた。

3. 結果と考察

アンケート結果から、高校野球がコミュニケーション能力やマナー、礼儀といった種々の要素に対して良い影響を与えていると感じている部員が多いことが分かった。

また、高校野球が私生活における態度に良い影響を及ぼしていたかを問う質問に対しては、ほぼ全ての部員が全ての項目に対して「はい」と答えている。さらに、野球による教育効果に対して自覚的である回答も見受けられた。これらの回答から、部活内の厳しい規律によって日常生活の態度まで律されている様子が分かった。

4. まとめ

高校野球は野球部員の学校生活、私生活に全体的に良い影響を与え、人格形成においては、連帯やマナー、フェアプレーの精神などを身につけさせる効果があるということが出来た。

参考文献

- (1) 公益財団法人日本高等学校野球連盟, 「公益財団法人日本高等学校野球連盟 定款」,
- (2) 公益財団法人日本高等学校野球連盟, 「公益財団法人日本高等学校野球連盟 日本学生野球憲章」,
- (3) 竹村 直樹(2014), 「高校野球部員の意識と行動の分析 : ドラマトゥルギーの方法を通して分析する」, 龍谷大学社会学部紀要, 龍谷大学, pp. 59-69.